学校番号	1006

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「歴史総合」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・18 世紀以来の歴史を、「私たち」の身近なところから問いを作って学ぶ
・日本史、世界史を分けずに全体として学ぶ
・近代化、大衆化、グローバル化という三つの大きなテーマを設定して学ぶ
以上の学びを基に、現代的諸課題に考察を加えることができるようになってほしい。

2　学習の到達目標

① 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
② 近代が抱える課題の解決に向けて必要な社会的事象に関する情報を収集する力を養い、合意形成を図りながら議論する力を養う。
③ グローバル化する国際社会に主体的に生きる人間として必要な思考力と行動力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを利用して多面的･多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論している。	近現代の歴史の変化に関わる諸 事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち	・近代化への胎動 ・欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	a:・17 世紀を含めた 18 世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通, 江戸幕府の４つの口や周辺地域との貿易などを基に, 18 世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解している。 ・18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸, オスマン帝国における政治, 各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に, 18 世紀とその前後の世界の経済と社会を理解している。 b:・17 世紀から始まり 18 世紀から 19 世紀にかけての日本が４つの口を通して周辺地域との関係に着目して, 主題を設定し, 周辺地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 18 世紀とその前後の日本における経済活動の特徴, 清などのアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し, 表現している。 ・18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸, オスマン帝国でのできごとや影響などに着目して, 主題を設定し, 世界各地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸, 東アジア諸国における経済活動の特徴, アジア各地域間の関係, アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し, 表現している。 c:・18 世紀とその前後のヨー	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など

			ロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

	近代化と私たち	・欧米諸国と日本の国民国家形成 ・帝国主義の時代	a:・19 世紀後半のヨーロッパや日本における政治，ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に，19 世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 ・19 世紀から 20 世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，19 世紀から 20 世紀初頭のアジアの経済と社会を理解している。 b:・19 世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して，主題を設定し，ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，19 世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴，ヨーロッパ各地域間の関係，日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・19 世紀から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して，主題を設定し，ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，19 世紀から 20 世紀初頭の日本における政治の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: ・19 世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など

			さについての自覚などを深める。 ・帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第一次世界大戦と大衆社会	a:第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b: 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 20 世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など

			我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・経済危機と第二次世界大戦	a: 世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b:経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など

3学期	グローバル化と私たち	・冷戦と脱植民地化 ・多極化する世界	a:・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 ・石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 b:・地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など

			影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:・ 1950 年代の冷戦期から 1970 年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 ・1970 年代に入り石油危機などが起きたころから 21 世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

	グローバル化と私たち	・グローバル化と現代世界	a: 歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解している。 b: 事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: 21 世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度